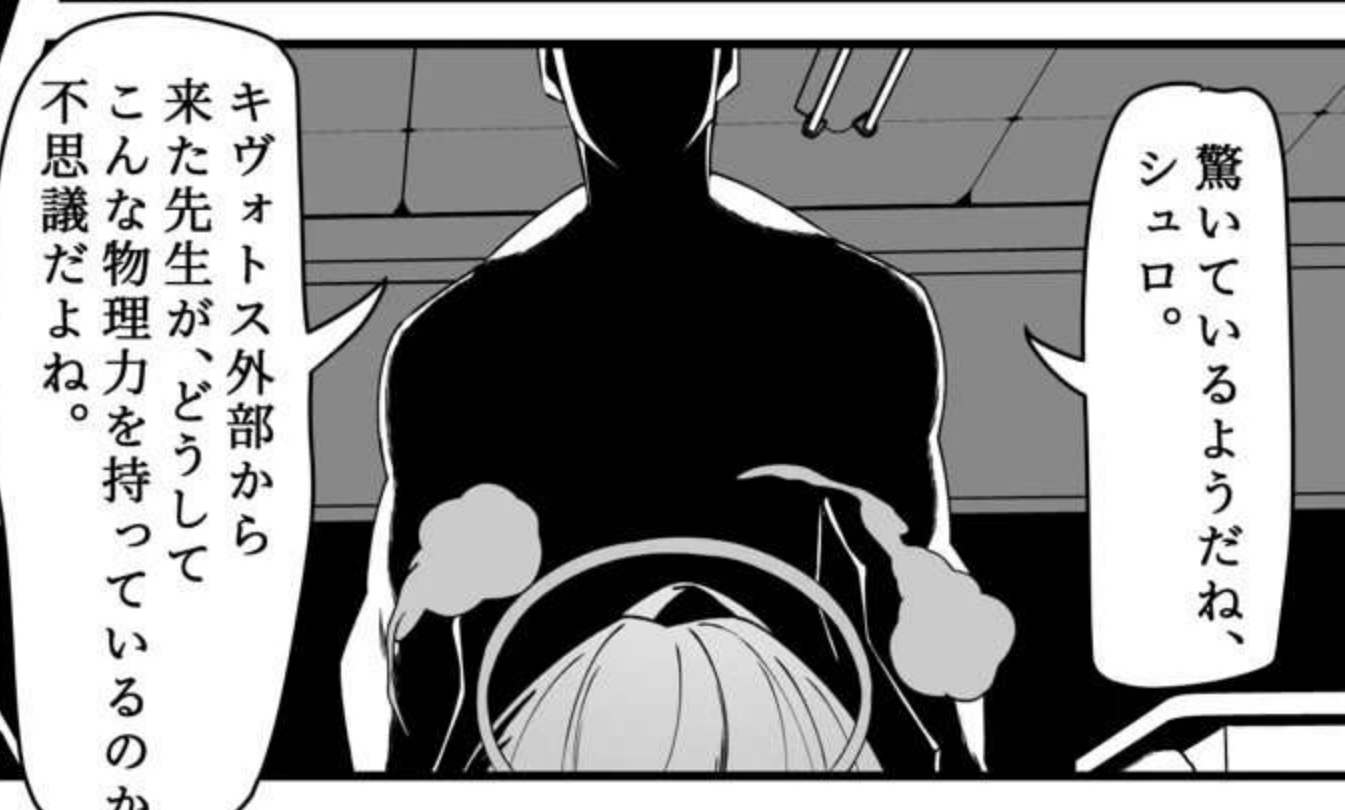










謝罪の気持ちを込めて舌を動かして

そう、そうやって



先生はシュロが嫌いだからこそしているわけではない

逆に、シュロを愛しているからこそしているんだ。

体の中で一番脆弱な部分にしつけするのがその理由なんだ。



よし、そうやって口に含んで…



あ…







それでも今回はこれで終わらせてあげるよ。



次回はもっと厳しいしつけをするからね。



分かったか？

うーん…もう何も聞こえないみたいだね。

後で目を覚ましたら、
もう一度話そう



まず、私の絵を見てくださってありがとうございます。

シュロを初めて見た瞬間から壊したいという欲望に勝てず、この漫画を作りました。

でも、私も先生としてシュロを含む生徒たちを愛しています。



私は日本語を専門的に学んでいないので、日本語の翻訳がぎこちないかもしれません。
読むのに不便だったら心よりお詫び申し上げます。





